

トリトン・アーツ共催公演

日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA

第222回定期演奏会
The 222nd Regular Concert



日本音楽集団『傑作選』

邦楽巨大アンサンブルへの挑戦

2017年10月18日[水]
午後7時開演

第一生命ホール

演出：田野村聡
構成：久本桂子
舞台監督：中島隆

主催：特定非営利活動法人日本音楽集団
共催：認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク／第一生命ホール
助成：平成29年度文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）
後援：公益財団法人日本伝統文化振興財団
JAPAN TRADITIONAL CULTURES FOUNDATION

■日本音楽集団：http://www.promusica.or.jp/
■トリトン・アーツ・ネットワーク：http://www.triton-arts.net/ja/
Facebookページhttps://www.facebook.com/tritonartsnetwork/



Facebookファンページ：promusicanipponia



このコンサートは公益財団法人サントリー芸術財団の推薦コンサートです

日本音楽集団『傑作選』邦楽巨大

1、ディヴェルティメント

1969年 佐藤敏直作曲

- | | |
|---------------------|------------|
| 〔笛〕新保有生 | 〔打楽器Ⅰ〕盧慶順 |
| 〔尺八Ⅰ〕竹井誠 長谷川道将 (助演) | 〔打楽器Ⅱ〕山内利一 |
| 〔尺八Ⅱ〕阪口夕山 田野村聡 | 〔指揮〕田村拓男 |
| 〔細棹三味線〕簗田司郎 二代目三山貢正 | |
| 〔低音三味線〕簗田弘大 長井麻江 | |
| 〔箏Ⅰ〕桜井智永 石井香奈 | |
| 〔箏Ⅱ〕三宅礼子 伊藤麻衣子 | |
| 〔十七絃〕久東寿子 久本桂子 | |

2、日本音楽集団版「交響譚詩」

2005年 伊福部昭作曲・秋岸寛久編曲

- | | |
|----------------|------------------------|
| 〔笙〕西原祐二 | 〔太棹三味線〕山崎千鶴子 |
| 〔箏〕三浦元則 | 〔琵琶Ⅰ〕藤高理恵子 |
| 〔篠笛Ⅰ〕あかる潤 | 〔琵琶Ⅱ〕久保田晶子 |
| 〔篠笛Ⅱ〕遠藤悠紀 | 〔二十絃Ⅰ〕熊沢栄利子 佐藤里美 |
| 〔尺八Ⅰ〕元永拓 | 〔二十絃Ⅱ〕丸岡映美 伊藤麻衣子 |
| 〔尺八Ⅱ〕田野村聡 | 〔二十絃Ⅲ〕桜井智永 渡辺正子 |
| 〔尺八Ⅲ〕米澤浩 | 〔十七絃Ⅰ〕城ヶ崎美保 石田真奈美 (助演) |
| 〔尺八Ⅳ〕渡辺淳 | 〔十七絃Ⅱ〕久本桂子 岡山亮子 |
| 〔胡弓〕帯名久仁子 (助演) | 〔打楽器Ⅰ〕多田恵子 |
| 〔細棹三味線Ⅰ〕守啓伊子 | 〔打楽器Ⅱ〕細谷一郎 (助演) |
| 〔細棹三味線Ⅱ〕簗田弘大 | 〔指揮〕苦米地英一 |

3、巨火 (ほと)

1976年 三木稔作曲

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 〔笛Ⅰ〕遠藤悠紀 | 〔箏〕桜井智永 石井香奈 |
| 〔笛Ⅱ〕新保有生 | 〔二十絃〕熊沢栄利子 三宅礼子 |
| 〔尺八Ⅰ〕米澤浩 大河内淳矢 (助演) | 〔十七絃〕城ヶ崎美保 佐藤里美 |
| 〔尺八Ⅱ〕竹井誠 渡辺淳 | 〔打楽器Ⅰ〕多田恵子 |
| 〔尺八Ⅲ〕元永拓 阪口夕山 | 〔打楽器Ⅱ〕尾崎太一 |
| 〔胡弓〕帯名久仁子 (助演) | 〔打楽器Ⅲ〕盧慶順 |
| 〔細棹三味線〕杵家七三 | 〔打楽器Ⅳ〕山内利一 |
| 〔太棹三味線〕山崎千鶴子 | 〔指揮〕稲田康 |
| 〔琵琶Ⅰ〕藤高理恵子 | |
| 〔琵琶Ⅱ〕久保田晶子 | |

アンサンブルへの挑戦

プログラム 解説

日本音楽集団委嘱作品。1969年10月31日第10回定期演奏会(朝日生命ホール)横山千秋指揮。

第1楽章は長短調のシステムが強く影響しています。その頃の和楽器に対する悩みが、私には今でも手に取るように判る部分です。第2楽章は教会旋法を意識して、和楽器の可能性を探った跡があります。第3楽章で少し日本的な色彩が加わりました。いずれにしてもはじめての大合奏でしたので、手探りの連続でした。

それほど昔の作品ですが、いわゆる「邦楽」に対して、音楽に閉鎖的な印象をもっていましたので、何か解放感のある世界が描けないだろうかと考えたことを覚えています。

(第159定期演奏会プログラムより 作曲者)

若き伊福部の代表作。1943年11月20日、山田和男(のちの一雄)指揮東京交響楽団(現東京フィルハーモニー交響楽団)が初演。作曲家29歳のとき。戦争中には高い演奏頻度を誇った。山田耕作や尾高尚忠や斎藤秀雄らが争って指揮した。芥川也寸志や黛敏郎など、その頃、作曲を志していた若者たちに与えた影響も絶大だった。既に伊福部は20代はじめから名のある作曲家ではあったけれど、広く人気を得たのはこの「交響譚詩」からである。「日本音楽集団版」は2005年5月19日、田村拓男指揮で初演。会場は本日と同じ第一生命ホール。12日後に91歳の誕生日を迎える伊福部も来場した。亡くなったのはそれから9か月後である。

全体は2つのバラード(譚詩)から出来ている。第1のバラードは「奇想曲風のアレグロ」。プロコフィエフなどに通じる新古典主義的な爽快な音の運びと「日本的なもの」が絶妙に相乗する。第2のバラードは「狂詩曲風のアンダンテ」。この部分の原曲は、作曲家の出世作「日本狂詩曲」の初期形の第1楽章で、結局未発表のまま取り残されていた「じょんがら舞曲」という作品。その名の通り「じょんがら節」風の曲想が一貫し、邦楽器にもなじみのよい音楽である。秋岸の編曲は全体に、尺八や箏や胡弓の独奏を巧みに織り交ぜ、「交響譚詩」の西洋管弦楽版原曲では多分に洗練されていた「日本的なもの」を見事に赤裸々にしている。

(第213回定期演奏会プログラムより 片山杜秀)

“巨火”。この名は、巨大な焰といった意味です。作者の企画した<かぐら1976>のとりの中として、日本音楽集団の最も大きな編成で書かれました。16人の管絃奏者を4人の打楽器奏者が囲んで演ずる、30分近い曲で、おおよそ3つの部分に分けられます。

第一の部分は“祀り”すなわちリチュアルな、厳粛な雰囲気を持っています。第二の部分は“遊び”というか、スケルツァンドな部分。最後はそれが徹底し“祭り”フェスティバルですが、秩父屋台囃子が、笛、打楽器に援用されています。通常な形での指揮者でなく、上手手前の打楽器奏者が、音頭取りを兼ねるよう作曲されており、二十絃箏もしくは三味線あるいは打楽器が、上演時の状況に応じてソロ的に大活躍するようヴァージョンを分けてあります。

(第123回定期演奏会プログラムより 作曲者)

笛 か 潤
あ 藤 悠 紀
遠 保 有 生
新 井 誠 (尺八)
竹 井 浩 平
西 川 浩 平

笙 三 浦 は な ※

箏 西 原 祐 二
三 浦 元 則

尺八 大 賀 悠 司 ※
阪 口 夕 山
田 野 村 聡
原 郷 隆
藤 崎 重 康 (笛)

三 橋 貴 風
元 永 拓
米 澤 浩
渡 辺 淳

三味線 杵 家 七 三
長 井 麻 江
二 代 目 三 山 貢 正
總 積 大 志 ※
簀 田 弘 大
簀 田 司 郎
守 啓 伊 子
山 崎 千 鶴 子

琵琶 久 保 田 晶 子
首 藤 久 美 子
田 原 順 子
藤 高 理 恵 子

箏 石 井 香 奈
伊 藤 麻 衣 子
岡 山 亮 子
久 東 寿 子
熊 沢 栄 子
桜 井 智 永
佐 藤 里 美
島 崎 美 保
城 ケ 崎 美 保
久 本 桂 子
丸 岡 映 美
三 山 田 明 美
渡 辺 正 子

打楽器 臼 杵 美 智 代
尾 崎 太 一
島 村 聖 香 ※

多 田 恵 子
山 内 利 一
盧 慶 順

指揮 稲 田 康
田 中 元 樹
田 村 拓 男
芒 米 地 英 一

作曲 秋 岸 寛 久
川 崎 絵 都 夫 ※
篠 田 大 介
高 橋 久 美 子
福 嶋 頼 秀

アートマネージメント 大 西 愛 子 ※

楽器・舞台 中 島 隆

名誉代表 田 村 拓 男

代表 尾 崎 太 一

副代表 米 澤 浩

運営委員 田 野 村 聡
芒 米 地 英 一
原 郷 隆
久 本 桂 子
福 嶋 頼 秀
元 永 拓
山 崎 千 鶴 子

監事 田 村 拓 男
三 田 村 典 昭

事務局 中 山 美 穂 子

永久名誉団員 長 澤 勝 俊

(楽器別・五十音順)
2017年9月現在、
※は休団中

● 賛助会員へのお誘い ●

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。
多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動の定着と発展を目指したく、ご協力をお願い申し上げます。

年間 個人会員10,000円(一口以上) 法人会員30,000円(一口以上)

【賛助会員】(口数・五十音順)

[法人会員]

青和観光株式会社 代表取締役 青木茂
株式会社青和トラフィック 代表取締役 青木茂
日凸運送株式会社
(有)邦楽ジャーナル 代表取締役 田中隆文
神戸レコードクラブ/宅音便(有限会社 文)
株式会社青和運輸

[個人会員]

山 本 福 八
*
池 田 玖 莉 子
大 塚 悦 子
柿 崎 や よ い

金 子 宜 弘
小 池 節 子
佐 藤 裕 美 子
佐 藤 玲 子
添 川 慎 二

東 谷 仁
友 杉 穀
富 山 優 子
堀 保 之 一
三 宅 徳

元 永 明 希
元 永 美 代 子
森 繁 美
堀 博 明
山 本 友 英

その他1名
(2017年9月現在)
※は休団中



株式会社 琴 光 堂

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2-19-15

TEL03(3792)8481 FAX03(3792)8437 URL: <http://kinko-do.com> E-mail: tokyo@kinko-do.com

特定非営利活動法人

日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビルB1 TEL03-3378-4741 FAX03-3376-2033
ホームページ <http://www.promusica.or.jp>